



2020年度物理学科新入生歓迎談話会

「理論物理学の楽しさ」

講演者：初田泰之 助教（立教大学理学部物理学科）

5月7日（木） 11:20-12:25

20世紀以降の物理学は高度に専門化したため、理論と実験が完全に分離しました。理論物理学の基本姿勢は既存の実験結果の説明及び新たな物理現象の予言ですが、理論には現実とは直接関係しないと思われる「遊び」の部分も多く存在します。このような部分はしばしば切り捨てられがちですが、科学の多様性のためには「遊び」も重要です。

この講演では簡単な例を取り上げて、理論物理学の「遊び」の部分がどのような役割を果たしてきたか、そして理論物理を研究することはなぜ楽しいのかを伝えたいと思います。